



しらみず

いわき市立白水小学校
学校便り 第5号
平成28年6月30日
発行者 校長 遠藤隆宏

陸上競技大会への参加を通して・・・

6月22日に、いわき市小学生陸上競技大会が行われ、6年生の3名はそれぞれの種目に出場し、5年生の1名を加えた4名でリレーにも参加してきました。

4月からこの日のために毎日練習を重ねてきた子どもたち。他校のたくさんの小学生に囲まれるとやはり緊張してしまいましたが、精一杯がんばることができました。

陸上大会に参加した6年生の感想をまとめてみました。



ぼくは、陸上大会でハードルとリレーに出ました。たくさんの6年生たちがいてきんちょうしました。ハードル走では、速そうな人たちがいっぱいいました。目標は3位以内に入ることでしたが、結果は5位でした。でも、17秒台の記録は自己ベストだったのでよかったです。

これからは、今よりもっと速くハードルを跳べるように、いっぱい練習をして、中学校で大会がある時には返したいです。

ぼくが、陸上大会に参加して思ったことは、まずきんちょうしたことです。リレーや1000m走を走る時には、周りにいろんな人がいて、みんなが速そうに思えてドキドキしました。

結果はあまりよくなかったけれど、自己ベストを出すことができたのはよかったです。

次の校内持久走記録会では、もっとよい記録が出せるよう、家に帰ってからも練習をしていきたいです。



ぼくは、陸上競技大会でボール投げとリレーに出ました。ボール投げでは50m近く投げることが目標でしたが、結果は41mで残念でした。でも組で3位に入り賞状がもらえたことはうれしかったです。リレーでは3位以内に入れなかったのでもよかったです。

この陸上競技大会での経験を生かして、中学校での部活動の大会などでは、緊張せずに、周りを気にせず自分の力を発揮できるようにしたいです。

こうした大会に参加すること、そしてそれを目標として練習を重ねたことにも大きな意味があると感じました。子どもたちの緊張した思いや次こそはという意欲を大切にしていきたいと思います。

応援にお出でくださった保護者の皆様、あたたかい声援をいただき、本当にありがとうございました。

様々な交流を通して・・・

白水小学校は、少人数であるが故に、子どもが他者と関わる範囲が少なくなってしまうと思います。こうした環境は、もちろんいい面もあります。その子どものつまずきに対応できる点、その子の学びのペースに合わせて授業を進められる点など、個に応じた学習が展開されやすい点です。

ただし、以下の点で課題もあるのは事実です。

- (1) 友達どうして相談したり、解決方法を比較してどちらがよいかを検討したりする「学び合う学習」が展開しにくいこと。
- (2) 多くの仲間といっしょに学習をすることによって、友達の姿から学ぶ機会や選択肢が少ないこと。
- (3) 常に近くに教師がいる環境で、困った時には頼ってしまう傾向があること。

こうした課題の解決のために、白水小学校の子どもたちには、学校内に限らずに、より多くの人たちとの交流や共に学ぶ体験が必要です。

六月には、「宮小・内町小との合同体育」「白水のぞみ保育園との交流活動」「いわき市陸上競技大会」があり、学校外のたくさんの方々との交流や共に学ぶ体験を積むことができました。

今後も、こうした活動を計画的かつ積極的に取り入れていきたいと考えています。



◇ 7、8月の主な学校行事予定

<7月>

- 4日(月) いわき市教育委員会訪問
発育測定
- 7日(木) 七夕集会
- 8日(金) ありがとうパーティー
授業参観 学校保健委員会
育成会総会 PTA運営委員会
- 11日(月) 集金日
- 12日(火) 愛校作業(ワックスがけ) 5校時限
- 18日(月) 海の日
- 19日(火) 校内水泳記録会 いわき号

- 20日(水) 第1学期終業式
- 21日(木) ~8月24日(水) 夏休み
- 21日(木) 音楽祭練習
- 22日(金) 音楽祭練習

<8月>

- 21日(日) 内郷方部PTA球技大会
- 25日(木) 第2学期始業式
- 26日(金) 集金日
- 29日(月) いわき号

6月の教育活動より

宮小学校・内町小学校との合同体育・・・6月1日

梅雨前のいい天候の中、宮小学校、内町小学校と合同で陸上を中心とした体育の授業を合同で行いました。いつも全校生7名で体育をしている白水小の子どもたちにとって、こんなにたくさんの仲間といっしょに体育の授業をするのは初めてで、子どもたちはちょっとした緊張感をもって参加していました。それでも慣れてくると、自分の力を発揮することができたようです。



山野有光先生による習字教室(校内たなばた大会)・・・6月6日

特別に習字の先生として山野有光先生にお出でいただき、七夕展に出品する習字の作品づくりに取り組みました。この日は月曜日のせいか、なかなか調子が上がらない子どもたちもいましたが、休み時間をはさんで3校時目になると、集中して作品を仕上げていました。



この日に書いた作品は、「七夕展」という習字の作品コンクールに出品しました。山野先生、ありがとうございました。

白水のぞみ保育園との交流会・・・6月10日

この日、保育園に行くと、園庭にある竹製の遊具が取り壊しになる直前ということでした。最後にこの竹製遊具で遊びましょうということとなり、小学生たちも園児に混じって体験をさせていただきました。園児たちは、なかなか遊具から出てこれなかったり怖がってはしごから降りてこれなくなったりしましたが、さすがは小学生のお兄ちゃんたち、進んで園児のめんどうをみてあげる姿がたくさんありました。その後、ダンスを発表したり、各教室でいっしょに触れあったりする活動を楽しみました。



陸上選手壮行会・・・6月17日

陸上競技大会を間近に控えたこの日に、2年生と4年生の3人が選手のみなさんを励まし、エールを送る会を開いてくれました。

応援をされると、士気が高まり、持っている力を十二分に発揮しやすい環境となります。しかし、大会当日のリレーの競技になると、4名の選手はみな競技に出るために、他校のように客席での応援はなくなってしまいます。この日の3人の元気いっばいのエールは選手の心に留まって、大会当日にも届いていることと思います。



「あい」のある「あいさつ」をしよう

先日の全校集会で「あいさつ」について、次のような話をしました。

「あいさつ」は漢字で「挨拶」と書き、「挨」には「自分の心を開く」、「拶」には「相手の心に迫る」という意味があります。言い換えれば「挨」で「あいさつ」をして、「拶」で「あいさつ」を返すということじゃないでしょうか。みなさんのあいさつは、「拶」が多いですね。「挨」の役割ができるように、相手よりも先にあいさつができるようにしましょう。

翌日から、進んであいさつをする子どもが増えてきています。子どもたちが自分からあいさつができた時には、認めてほめてあげてください。